

事前評価個表

事業名	森林居住環境整備事業	事業実施計画期間	平成29年～平成33年度(5年間)
事業実施地区名 (都道府県名)	(なんよ) 南予森林計画区 (愛媛県)	事業実施主体	四国森林管理局 愛媛森林管理署
事業の概要・目的	<p>当計画区内の国有林は、宇和島市、鬼北町、松野町、愛南町に分布している。これらは宇和島市の上水道の約7割を供給する須賀川の上流域にある若山・八幡山に代表されるように、主に河川の上流域に位置しており、その9割が水源かん養保安林に指定されている。</p> <p>当事業は、愛媛県南端部に位置する南予森林計画区内の国有林野11,752haのうち森林環境保全整備事業対象地以外の集落周辺の国有林野768haを対象としている。</p> <p>地域の要請は、国土の保全、水源の涵養に加え、木材利用の推進、生物多様性の保全、森林環境教育の推進、森林とふれあいや国民参加の森林づくり等公益的機能の発揮、とりわけ自然環境の保全に関する地域の要請は高くなっている。</p> <p>また、当計画区内の国有林林道の三森林道は山出林道と接続することで自然災害が発生した際に迂回路として防災対策として重要な役割果たすものとなる。</p> <p>このため、本事業においては、これら地域の要請に応えるため、集落周辺の路網整備を行うことにより、山村地域の居住環境の改善や、都市と山村の交流等の促進など、森林の重視すべき機能区分に応じた適切な森林整備に資することを目的とする。</p> <p>主な事業内容 開設延長 1.10km</p> <p>総事業費 49,947千円</p>		
費用対効果分析	総便益(B)	56,449千円	
	総費用(C)	48,082千円	
	分析結果(B/C)	1.17	
森林管理局事業評価技術検討会の意見	山村地域地域等への定住条件の改善や防災対策等の居住環境を広く創出するための路網整備を必要とすることから、必要性、効率性、有効性が認められる。		
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要性 地球温暖化防止対策や国土保全、水源涵養及び保健休養等の公益的機能の発揮や木材の安定供給が求められている事や、森林・山村・都市の共生・対流を求められる地域であり、事業の必要性が認められる。 ・ 効率性 費用対効果分析の結果から、事業の効率性が認められる。 ・ 有効性 国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、地域の特性を踏まえた計画的な森林整備により、森林の有する機能を十分発揮させる有効な事業であると認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査項目(チェックリスト)、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に評価したところ、森林の重視すべき機能に応じた適切な森林整備が効率的に計画されていると認められる。</p>		

様式1

便 益 集 計 表

(森林整備事業)

事業名：森林居住環境整備事業費

都道府県名：愛媛

施行箇所：南予森林計画区(居住)

(単位：千円)

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
木材生産等便益	木材生産等経費縮減便益	36	
	木材利用増進便益	613	
	木材生産確保・増進便益	1,723	
森林整備経費縮減等便益	森林管理等経費縮減便益	2,000	
	森林整備促進便益	52,077	
総 便 益 (B)		56,449	
総 費 用 (C)		48,082	千円
費用便益比	$B \div C = \frac{56,449}{48,082}$		= 1.17

